

2014年4月 地域自然情報研究会



山地溪畔林における林床植生構成種ネコノメソウ属の種の共存機構に関する研究

深町 篤子 氏 (東京農工大学大学院 植生管理学研究室)

『どうして多種の共存が可能であるのか?』という疑問は、生態学におけるひとつのテーマであり、様々な説がある。ふつう植物群集では、1種より多くの植物が、ある空間である程度の継続時間をもって、ともに生育する。分布が重なる範囲では、類似した歴史的背景をもつのかもしれない。分布が重なる範囲で分布がずれるときには、競争排除の途中かもしれないし、ニッチ分化がみられるのかもしれないし、たまたまなのかもしれない。それに、なかなか分布にずれがみられない場合もあるかもしれない。

東日本山地溪畔林の林床に共存するネコノメソウ属の種を対象に、多種共存機構の一端について検討している研究課題を紹介し、話題提供としたい。

開催日時

2014年4月26日(土) 14:00~16:00

参加費

500円(ただし、GCN会員は無料)

お申し込み・お問い合わせ

お名前、ご所属、ご連絡先メールアドレス、会員種別をご記入の上、下記までご連絡下さい。

mail: gcnken@gmail.com

NPO法人 地域自然情報ネットワーク 事務局
(担当: 梶並)

会場案内

新宿区環境情報学習センター 2F 研修室
(エコギャラリー新宿)



地域自然情報研究会とは?

当NPOにて2006年から、概ね月1回のペースで開催している研究会で、地生態学・景観生態学などにかかわる調査や研究、GIS情報整備や公開にかかわることなど、幅広い分野の方から話題を提供いただいています。意見や質問が飛び交う中から、新たな発想が生まれる場とするために、分野に限らず、多くの皆様のご参加をお待ちしています。

なお本研究会では、皆様の話題提供も、随時、受け付けています。ご興味のある方は是非ともご連絡下さい。



NPO法人
地域自然情報ネットワーク
The Geoeological Conservation Network

NPO法人地域自然情報ネットワーク (GCN) は
地生態学の視点から自然環境の保全を提案します

なお、GCNにつきましては、当会ホームページをご覧ください。
<http://www.geo-eco.net/index.html>